

2005

駅周辺公共施設アクセスガイドツール

Train Station Vicinity Public Facility Access Guide Tool

AD 05 伊勢 健人
指導教員 西野 隆司

1. 研究目的

新宿駅は日本一利用人数が多い。しかし現在JR新宿駅に設置されている周辺案内の地図は、大雑把で目的地を見つける事が容易ではない。また、子供や老人だと目的地までの道を忘れてしまう可能性もある。なので、誰もが簡単に目的地に行けるものが必要だと考えた。

2. 調査と分析

JR新宿駅で、100人に「駅構内に設置されている地図の使いやすさ」について調査を行ったところ、約70%の人が目的地までのルートがわかりにくいと答えた。また、駅構内の地図がわかりにくいために、携帯電話の無料のナビゲーションサービスを利用している人は80%以上いることが分かった。しかし調査の結果、その携帯電話のナビゲーションサービスも、地図を真上からみているだけなので「見づらい」「自分の位置が確認しにくい」との声が多く上がった。

また、目的地として多かったのは交番、病院、郵便局の順であった。

3. コンセプトの立案

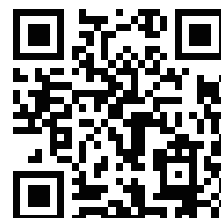
「誰もが悩まず目的地まで行ける、無料のナビゲーションサービスの制作」

サービス媒体として利用者数の多い携帯電話で利用できるナビゲーションのサイトを設立する

4. デザイン展開

- 日本で最も利用者数の多いJR新宿駅のナビゲーションサービスを制作する。
- アンケートの結果から、「交番」「病院」「郵便局」の3つを目的地に決定した。
- 簡単にするために、操作方法はクリックのみで行う。
- JR新宿駅の「東口」「南口」「西口」などから目的地に行けるように、それぞれプログラミングした。
- アンケートの結果から、平面のナビゲーションではなく、目線から見た実際の写真を使い、3Dのナビゲーションにする。
- 連絡を取れるように目的地の住所や電話番号の情報を、目的地を指定する際に公開する。
- このサービスを必要とする人のために、駅構内にある地図にこのサイトのQRコード、URLを記載する。

5. 完成図



QRコード

6. 結論

私自身ナビゲーションを使ってみた所、現在ある地図や無料ナビゲーションサービスよりも実際の写真を使っているため分かりやすく、時間がかからなかった。南口には交番がないので、案内が便利であった。今回、「交番」「病院」「郵便局」の3つを使用したが、もう少し幅広い施設への案内を増やせばいいと思った。

最終的なアンケートの結果、「写真の方がわかりやすい」「斬新で面白い」などの回答を得ることが出来た。

しかし、古い機種で閲覧したときに画像が表示されない、会社によっては見たときの画面が異なるという問題点がでてしまったので、インターネットの不安定さを実感した。

2006年10月16日、渋谷駅にタッチパネルで地図検索できるデジタル案内板が設置された。今回私が研究したものも含めて、これから先、こういうサービスが必要になるだろうと思った。

7. 参考文献

- Google(TM) マップBETA (<http://maps.google.co.jp/>)
- 現在新宿駅に設置されている地図や案内